

## 登録有形文化財(建造物)の登録について

- 椿八幡神社本殿
- 中山家住宅主屋
- 栗尾家住宅主屋

以上3件

## 全国の状況

	新規登録	累 計
登 録 数	1 8 5 件	1 2, 1 5 6 件
関係市区町村	5 7 市区町村	9 3 5 市区町村
関係都道府県	3 4 都府県	4 7 都道府県

## 本県関係

	新規登録	累 計
登 録 数	3 件(3 箇所)	1 8 5 件 (7 8 箇所)
関係市町村	2 市	7 市 1 1 町

教 育 文 化 課

名 称	椿八幡神社本殿 (つばきはちまんじんじゃほんでん)
所 在 地	徳島県阿南市椿町浜 1 - 1
建築年代	安政三年 (1856年) 頃
登録基準	二 造形の規範となっているもの
特徴・評価	<p>阿南市南東部の椿町中心部の境内奥に北面して建つ。一間社流造檜皮葺(いっけんしゃ ながれづくり ひわだぶき)(鉄板仮葺)で、四周縁を腰組で支持する。組物は八方に手先を出す尾垂木付二手先(おだるきつき ふたてさき)の詰組で、妻飾は二重虹梁とする。組物間や扉回りを人物や植物の彫刻で密に飾る。複雑な構造と豊かな装飾をもつ社殿。</p>



名 称	中山家住宅主屋(なかやまけじゅうたくしゅおく)
所 在 地	徳島県三好市東祖谷久保 3 1 1
建築年代	大正前期/平成 2 9 年改修
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴・評価	<p>祖谷川上流の久保集落の農家主屋。南正面の入母屋造茅葺(鉄板仮葺), 南西面を出桁造とし、濡縁と吹放下屋を廻す。東から土間付の茶ノ間, 中ノ間, 座敷を並べ, 中ノ間奥を寝間とする。見晴らしのよい南斜面中腹に建ち, 山村集落の景観の核をなしている。</p>



名 称	栗尾家住宅主屋(くりおけじゅうたくしゅおく)
所 在 地	徳島県三好市東祖谷釣井 1 0 5
建築年代	江戸末期/昭和 2 8 年頃増築/同 6 3 年頃改修
登録基準	二 造形の規範となっているもの
特徴・評価	<p>祖谷川上流の釣井集落の農家主屋。南正面の入母屋造茅葺(鉄板仮葺)で、東から土間付の茶ノ間, 中ノ間, 座敷を並べ, 中ノ間を寝間とする。正面と西側面に縁を廻し, さらに正面に濡縁を通して中央に便所を設ける。祖谷地方の伝統民家の形式をよく示す。</p>

